

5 / 10

仏滅 土

旬のもの 莢豌豆(さやえんどう)

若いエンドウで、莢(さや)ごと食用にするもので、特に柔らかく軟化栽培したものを絹莢(きぬさや)といいます。やわらかな緑色と、絹のような歯触りが持ち味で、色鮮やかにゆでるには、たっぷりの熱湯に塩を多めに加えた中に投入し、手早くゆでて流水で冷やすのがコツです。

カルシウムは、ほうれん草や人参より多く100g中65mgを含みます。ビタミンCは55mgあり、オレンジに匹敵する数値です。卵とじ、青煮、汁の実など、主役にはなりにくい材料ですが、キヌサヤの緑が加わると、春の感じが漂う名脇役の野菜です。

リプトンの日

今や世界最大の紅茶ブランドに成長した「リプトン」の第1号店となる食料品店が、1871(明治4)年のこの日にオープン。「リプトン」を日本で展開するユニリーバ・ジャパンが、創業者トーマス・リプトンの誕生日にちなんで記念日として制定しました。上質な紅茶を楽しみながら味わう日としています。

日本気象協会設立記念日

1950(昭和25)年のこの日、運輸省(現、国土交通省)所管の外郭団体として、気象協会が設立されました。NHKに天気図や解説図を提供したり、177天気予報サービスなどを行っていましたが、1966(昭和41)年に、地方ごとの気象協会が、日本気象協会として統合されました。

5 / 11

大安 日

旬のもの たらの芽

たらの芽は他の山菜に類をみない特有の香味と軽い苦味、そしてほどよい脂肪分があり、珍味とされています。脂肪のほか、たんぱく質やビタミンB2などにも富み、栄養面でも優れているため、「山菜の王様」といわれています。たらの芽には「糖尿病」の原因であるブドウ糖の吸収を抑制する作用のある物質、「エラトサイド(サポニン類)」があると確認され、いま注目を集めています。料亭では、見た目を重視するので、芽が出たばかりの5cmぐらいまでのものを使いますが、手のひらサイズくらいのほうが食べ応えがあり、美味です。最近では、栽培の品種改良が進んで、密集栽培が可能で、収穫しやすいように刺がないものが出てきています。

鵜飼い開き

長良川の鵜飼は岐阜の夏の風物詩として受け継がれ、1300年以上の歴史があります。毎年5月11日から10月15日まで、仲秋の名月と増水時を除いた毎夜行われます。長良川における鵜飼は日本で唯一の皇室御用の鵜飼で、伝統装束に身を包んだ鵜匠が「ほうほう」と声をかけながら鵜を自在にあやつり鮎を狩る姿と燃え盛る篝火は、見る人を幽玄の世界へ誘います。

大津事件記念日

1891(明治24)年のこの日、滋賀県大津で来日中だったロシアのニコライ皇太子が、沿道警備中の巡査に切りつけられました。日露関係の悪化を恐れた政府は「大逆罪」を適用しようとしたのですが、大審院の児島惟謙院長は「謀殺未遂罪」を適用して無期徒刑の判決を下しました。このことで、国際的には日本の司法権に対する信頼を高めることになりました。